

協会だより

ひるば

2010
FEBRUARY
vol.15



レポート

大会報告

第15回

みてみてコーナー
現場からこんにちは

リトアニア

新年おめでとう申し上げます

社団法人 群馬県老人保健施設協会

理事長 高玉真光

平成3年に老人保健施設協会がスタートしてから今年で19年目を迎え、今年は第20回の老健施設大会が安中市松井田で高橋好一先生を大会長にお迎えして開かれます。

生まれたばかりの子供たちが20歳になりますので、当然のことながら入所しているお年寄りは100歳を超える方も多くなりました。多くの入所の方々が、お年をとられたために様々な介護を必要とするようになり、お預かりしている職員の方々の研修とお仕事はだんだん大変になってきました。片麻痺のお年寄りのリハビリテーションマネジメントや認知症に陥り短期集中リハを必要とする人など様々な加算が行われてきましたが、いずれも人手を多く必要とするものとなっています。介護報酬は3%増加しただけでした。この増加した報酬は短期集中リハビリテーションが主なものでしたので、みんなで頑張って短期集中加算を取得していきましょう。

冷え込みが厳しさを増すなか、インフルエンザを予防し、院内感染を防ぎながら新しい年を迎えることになりました。今年も健康に注意しながらの御活躍を心からお願い申し上げます。

第19回(平成21年度)

群馬県老人保健施設大会

期日 平成21年10月24日(土)

会場 ベイシシア文化ホール他

老健大会スナップ



開会式

第19回群馬県 老人保健施設大会を主催して

老人保健施設けやき苑施設長

服部 徳昭

第19回群馬県老人保健施設大会が、平成21年10月24日にベイシシア文化ホールと前橋市総合福祉会館を会場にして開催された。多くの方々から頂戴したご協力に対し、こころより感謝申し上げます。

まずは口演・ポスター発表に尽力された関係諸氏に敬意を表する。ランチオンセミナーも好評であった。御講演を賜った講師の先生に厚く御礼申し上げます。今大会のテーマ「老人心理を理解して介護にあたろう」の老人心理は私が長い間温めてきたテーマである。人の心理が年齢とともにどのように変わっていくかを理解することは介護の現場でも必要不可欠と考えていた。今大会でこのテーマについて皆様にお伝えする機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。特別講演も老人心理に焦点を絞り、



シンポジウム



特別講演 今井幸充先生



介護商品展示ブース



特別講演



大会長 服部徳昭先生



ランチョンセミナー 中村哲也先生



質問!!



口演発表



ランチョンセミナー



ポスター発表



口演発表

アンケート結果

Q1. 口演発表、ポスター発表について感じたことは？

- 司会、座長、スタッフともにスムーズな進行だった。
- マイクの調子が悪かった。隣の会場の音が聞こえた。
- 各施設での役割がスムーズに行かず四苦八苦していた様子があった。
- 自分では気づけない口演があり良かった。
- 施設によってケアが違い参考になった。
- 距離感が近いので分かり易かった。

Q2. ランチョンセミナーはいかがでしたか？

- 高齢者の行動症状・心理症状の対応について、分かりやすく参考になった。
- 病態・治療等、私達が今できる具体策について納得できた。

Q3. 特別講演はいかがでしたか？

- 時間が足りないもつと長く。
- 内容がわかりやすく明日から活用できるものであった。
- 違った視点からの意見で勉強になった。

Q4. シンポジウムはいかがでしたか？

- 実際のアンケートや症例が挙げられてわかりやすかった。
- テーマにそった内容がわかりやすかった。
- とても難しいことなのでこの中で内容を理解する事も難しい。

Q5. 展示ブースはいかがでしたか？

- 各ブースの企業名表記が見やすい位置にあったほうが良い。
- トロミのサンプリングに驚いた。

Q6. 全体の雰囲気はいかがでしたか？

- 公共の施設利用で制約があると思うのがゆったりとして良かった。
- 会場が一カ所が望ましい。
- 案内、運営者を配置して欲しい。

Q7. 今大会で良かった点は何ですか？

- 「老人心理」のテーマが生きていたスケジュールだった。
- 同じ老健の職員が集まり色々な刺激を受けると共にモチベーションが上がる。
- 同じような悩みを持つ他施設の意見・成功例を聞く事ができた。

Q8. 今大会で悪かった点は何ですか？

- シンポジウムはもう少しゆっくりスライドを見ながら聞きたかった。
- 口演発表・シンポジウムなど良い例だけでなく現実的に失敗例があっても良かった。

講演を日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科長教授今井幸充先生にお願いした。また、シンポジウムは副大会長名倉隆夫先生のご協力を得て、テーマに基づいた2施設の職員へのアンケートや利用者へのアンケート、症例を発表検討してシンポジウムとした。今大会の評価は群馬県老人保健施設協会が行ったアンケート結果が示している。大変良い、良いの評価が口演発表で75・9%、ランチョンセミナーで84・2%、特別講演で76・6%、シンポジウム77・2%であった。運営面では2施設での開催という不便さがあつたが、運営に携わっていただいた皆様のおかげで滞ることなく大会を終えることができた。こころより感謝申し上げたい。反省・改善すべき点は次回の大会に反映されることを願い、今後、この大会がさらに進化発展を遂げることを祈念して大会長としての任を終えさせていただきます。



介護車輛の展示



総司会
小野恭子さん



永年勤続表彰

ウェルライフ三愛



ハマチの解体ショー

目の前で解体された魚は、すぐに握り寿司へ姿をかえ、利用者様の口へ…
美味しいと大好評!!
喜んで頂ける食企画を毎月検討しています。

みてみて コーナー

第15回

「みてみて!私たちの施設こんなことやってるよ!」と名前の通りの「みてみてコーナー」。利用者様の作品から施設の行事、職員の行事だつて何でも載せちゃいます。



クリスマス会

紅白歌合戦、ハンドベル、サンタさんからのプレゼント。
1年に1度の良い思い出として、皆さんで盛り上がりました。
利用者さんの素敵な笑顔がとても印象的でした。

クラブ活動



書道と言うのは、心が洗われ、集中力も養われると言われています。昔執った杵柄でしょうか?それにしても皆さんお上手です。手作業(ちぎり絵)は、脳を活性化。月二回の作品づくりを楽しまれています。



とね



3-ター養成講座



書初め



行事食
中華バイキング



蘭玉づくり



おぎよん見物



屋上からの
お花見



衣装を合わせ
ダンスステップを披露した
アラフォー職員

高砂荘



今日はクリスマス会



高砂荘のパーティーは
いつも「みんなで楽しく!!」



アラ還職員も負けじと
バレリーナに変身



(ひろば編集室)

「ひろば」は皆さんの施設の情報をおま
ちしております。自
分の施設を思いつき
り宣伝してみませ
んか? ご意見・ご感想
アイデアなども大募
集! 郵送・メールど
ちらでもOKです。
原則として写真は
返却いたしません

原稿・作品大募集

- 〈北・中毛地区〉高橋久美子 (陽光苑)
・住所/〒371-0847 前橋市大友町3-26-8
TEL.027-253-3310
- ・アドレス/youkouen@ronenbyo.or.jp
- 〈東毛地区〉春山裕子 (サンホープ笠懸)
・住所/〒379-2313 みどり市笠懸町鹿2646-1
TEL.0277-76-1100
- ・アドレス/sunhope_yoshimoto@yahoo.co.jp
- 〈西毛地区〉多胡一史 (二之沢バナケア)
・住所/〒370-3531 高崎市足門町158-2
TEL.027-372-3711
- ・アドレス/ninosawa@toriton.ocn.ne.jp



劇団たろっぺ鑑賞



介護教室 認知症サ



きり絵



餅つき会

現場からこんにちは

相談員は何でも屋

当施設は、老人保健施設プランタンおおままと申します。夜景が美しく、晴れた日は前方に広がる山並の中に富士山の頂上が見え、眺めが良く日当たりの良い、小高い丘の上に建っています。

さて当施設の支援相談員は4名ですが、主に山崎・高橋がインテイク時のご家族様の相談を受けさせて頂いております。様々なお話を伺う最初の担当者として、ご家族様からの希望や情報をしっかりと受け止め、問題点はどこにあるのかを他職種の専門スタッフへ伝える大事なお仕事と考えています。トラブルの多くは説明不足や理解不足が原因と聞いていますので、そんな事の無いよう常に努力してゆきたいと思っています。入所後、事務所前をOT・PTの先生方と楽しそうにお話をしながら通り過ぎる姿を見るにつけ、とてもあたたかい気持ちになります。今後も利用者様の喜びや生きがいを身近に感じながら、施設で充実した生活を送っていただけるよう援助してゆきたいと思っております。

医療法人 春香会 プランタンおおま

支援相談員 高橋 加代子



東毛

当施設は、入所100床(一般棟・専門棟各50床)、通所60名定員の施設です。

毎日、入所者・通所利用者の方々が目標を持って励みリハビリと、職員が試行錯誤して行うレクリエーションで活気に溢れています。

また、月1回各フロア毎に行われる絵手紙教室も笑顔と元気がいっぱいです。最初は「絵は苦手だから。片方不自由だから。難しそうね。」と遠慮してしまう利用者様が多いですが、講師の飯出征之先生のわかりやすい指導の下、筆を持って半紙の前に丸や線を描き始めると、とても真剣な表情に変わり題材となる野菜や果物、花などを見つめるまなざしは若者顔負けです!!

そして、葉書に筆で下絵を描き入れ絵の具で色を入れていくと、雰囲気も変わり利用者の方々の個性が出た味のある、どこか温かみのある作品になります。

こうして出来上がった作品を施設内の廊下に飾らせていただいています。その作品を眺めている時に見せて下さる満足そうな笑顔と少し恥ずかしそうな表情、誇らしげに見つめる横顔に私たち職員は、「頑張ろう、という活力や元気をいただいています。

医療法人 緑陽会 こまち

介護福祉士
小林 真弓



西毛

当施設は、群馬県の北西部に位置する六合村にあります。山間積雪地帯であり今年はずでに何度も積雪を経験し、通所リハビリの送迎時には毎回雪との闘いです。

つつじ荘では、年々医療依存度の高い利用者様が増えてきています。入所50床のうち胃瘻・腸瘻管理の方が12人(うち経口摂取者3名、経口移行者2名)、気管切開の方が1名、膀胱瘻管理の方が3人、在宅酸素管理の方が3人という状況です。僻地であることも重なり地域の在宅支援の資源も乏しいため、在宅復帰が困難な状況にはあります。しかし、短い期間でも住み慣れた地域での生活が実現できるよう、看護職として医療ケアに重点を置き、且つ社会資源も意識しながら多職種と協力しあい、利用者・家族への支援を行っています。

六合村 つつじ荘

看護師長 山田 明美



北中毛

あけぼの荘に介護職として勤めはじめてから10年目となり、施設介護支援専門員としては4年目となりました。皆で力を合わせ、介護や看護やリハビリに頑張っています。

多職種協働の施設である為カンファレンスは大切なものですが、現場で実際物事が動いている時に行う立ったままの話し合いも大切に、普段あまり意見を言わない職員や利用者の思いも出来るだけ吸い上げ、反映できるように努めています。

利用者や家族、様々な職種の職員の意見を調和して、ひとつのケアの方向性をつくっていくのはやりがいがある一方、葛藤やストレスになることもあります。しかし、そんなストレスも職員や利用者と共に小さな目標をクリアできたり、ご家族(ペットを含む)に感謝の言葉や笑顔を頂くと軽くなります。こうして毎日を過ごしています。

医療法人 島門会 あけぼの荘

施設介護支援専門員 久保 真弘



グッドウェルリハビリテーション課は理学療法士6名、言語聴覚士1名、看護師1名、リハ助手1名で活動しています。類熱く入所者90名、デイケア利用者様45名に対して日々サービスを提供させていただいています。

「利用者様にとって生き生きとした自宅生活を送っていただけるようになる」ことをモットーにリハサービスを展開させていただいております。医師を始めとして介護支援専門員、看護師、介護士、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士等でチームを組み、利用者様1人1人のリハプランを立て実施しております。

また、縫物、編物、書道、塗り絵、脳トレドリル、折り紙、紙工作等から利用者様にやりたい活動を選んでいただき楽しい時間を過ごさせていただいています。

医療法人 吉井中央診療所 グッドウェル

理学療法士 高橋 洋行



当施設は、入所定員50名、通所定員15名の昭和63年に群馬県で最初の老健として開設した施設です。(現定員 入所100名、通所60名)今年度の報酬改定は、プラス3%の改定でしたが、それは各種加算がとれることを前提としたものでした。そこで、陽光苑ではできるだけ各種加算が算定できるように、多職種が力を合わせて取り組みました。

特に点数の増えた短期集中リハ加算、認知症短期集中リハ加算については、リハビリ職を常勤換算で4.6人から7.3人に増員し、重点的に取り組みました。その結果、月平均の延回数、短期集中リハ加算については昨年の平均138回から直近6ヶ月の平均で439回に増え、認知症短期集中リハ加算は平均13回から151回にまで増えました。

リハビリ職や介護職の増員により人件費も増えていますが、これにより事業収入は前年度比で5.9%増となりました。

また、認知症短期集中リハ加算については、施設大会でも発表し効果についても大変良い結果が確認できました。

事務職として、今後もケアサービスの質を落とさずに効率良く加算の算定に取り組めるように、協力していきたいと思えます。

財団法人 老年病研究所 陽光苑

事務 高橋 直也



ご家族のための介護保険情報 その1

「介護老人保健施設サービス」

皆さんご存じのとおり、介護老人保健施設(以下、「老健」)は「住まい」ではありません。原則的には在宅生活を基本とした在宅ケア支援施設で、一度だけの入所の方もいれば、繰り返し入所して心身機能の低下を防いでいる方もいます。

また、短期入所(ショートステイ)や通所リハビリテーションを併用しながら、さらに入所も利用しつつ在宅を本拠に生活をされている方もいます。

きつと、どなたも担当の介護支援専門員(ケアマネジャー)を選定していると思いますので、介護保険の各種サービスを利用する際には彼らに相談すると役に立ちます。

しかし、老健にも支援相談員と計画担当介護支援専門員という専門職が配置されており、入所や退所に関することを含めた在宅ケアや施設ケア全般について、どんな相談にも応じますから、活用することが有効でしょう。

特に入所した後、経過はどうなっており、その後の見通しや入所目標達成への道のりなどを確認しつつ、当面の目標達成をした後には、どうすればご本人やご家族にとってより良い療養生活を送ることができるのかを相談して、「工程表」を明確にしておくことが大切でしょう。

「在宅サービス」

さて、利用されている方は老健のサービスだけでは生活全般を支えていくことが難しい場合が多々あります。老健の在宅サービスの他に訪問介護や訪問看護、通所介護(デイサービス)や福祉用具貸与など、様々な在宅サービスがあります。これらをケアマネジャーとよく相談して、うまく組み合わせることで、ご本人の心身機能の維持や低下防止に有

効でしょうし、ご家族の介護負担軽減につながります。

サービスを利用するに当たって大切な視点は、①自分たちにとって役に立つこと、②中長期的な見通しを持つこと、③自己決定に基づくこと、の3点です。役に立つ優先順位を意識して、目先のことでなく先のことを見通して、勧められるままではなく自らの目で見たり感じたりして決めることが重要です。

費用のかかることですから、「費用対効果」の視点も大切です。最小限の費用で最大限の効果を得ることは、ご本人やご家族にとって重要であることは当然ですが、視野を広げて考えてみると介護保険制度の有効な運営に寄与することになります。つまり、限りある財源を無駄なく効果的に個々人が活用することによって、制度全体の安定性が増すこととなります。そうすれば、保険料の値上げやサービス利用の制約が抑えられることにもつながることでしょう。

「2012年問題」

新年早々、あまり気分のいい話ではありませんが、2012年には医療保険と介護保険の報酬同時改定があります。これが意味することは、制度自体も少し見直されるということなのです。

これを私たちは「2012年問題」と呼んでいます。改定でより良い制度にするためには、国民一人ひとりの声が何よりも大きな力になります。

良い制度になるように皆で一緒になって「こうして欲しい」ということを、市町村や県、そして国に伝えていきたいものです。

介護老人保健施設若宮苑 副施設長

安藤 繁

施設紹介

北・中毛ブロック

社会福祉法人恩賜財団済生会支部
群馬県済生会老人保健施設

あずま荘

- 開設/平成元年6月20日
- 入所定員/70名(うち、認知症専門棟20名)
- 通所リハビリ/50名

当施設は、社会福祉法人恩賜財団済生会が運営する施設です。開設以来、生活に困窮されている利用者を積極的に受け入れ、また、地元の方々との結びつきを重視してまいりました。今後も、利用者の皆様の立場に立ったサービス提供に心がけて行きたいと思っております。



〒371-0821 前橋市上新田町603-1
TEL 027-254-0108 FAX 027-255-1512

協会・事務局コーナー

■年度末の協会行事予定

- 2月**
 - 2月5日(金)看護・介護職員研修基礎講座
 - 2月10日(水)水代表委員会
 - 2月12日(金)支援相談員研修会
 - 2月16日(火)東毛ブロック事務連絡会議
 - 2月24日(水)水選挙管理委員会
 - 2月26日(金)臨時理事会
- 3月**
 - 3月11日(木)理事会・総会
 - 3月17日(水)北中毛ブロック事務連絡会議
 - 西毛ブロック事務連絡会議
 - 3月30日(火)作品展実行委員会

あともがき

- T** ここ数日の寒暖の差についていけず体調を崩してしまいました。久々の雪も楽しめず、すべらない様に必死!!です。皆さんも体調には充分気を付けてください。
- H** 厄除けに行ってきました。今年こそ良い年になりますように!!
- T** インフルエンザ警報は解除されましたが、みなさんまだまだ予断を許しませんよ!!

今年の作品展は5月に開催します

たくさんの作品を待っています。



- 東毛ブロック
 - 開催日：5月26日(水)～28日(金)または5月27日(木)～29日(土)
 - 会場：選考中です。
- 西毛ブロック
 - 開催日：5月26日(水)～28日(金)
 - 会場：高崎市役所1Fロビー・2Fホール
- 北・中毛ブロック
 - 開催日：5月26日(水)～28日(金)または6月23日(水)～25日(金)
 - 会場：県庁1F県民ホール(北側)